

Happy Smiles! CCC

ボランティアで生まれた、見つけた、いい笑顔！

A…学生団体「共同料理なごやか」料理交流会
 B…環境デーなごやか
 C…CCC10周年記念イベント「コラボメッセ」
 D…学生団体「とりあえずレモン」
 東谷山フルーツパーク秋のフルーツフェア
 E…学生団体「tASUkeai」子ども防犯プログラム
 F…学生スタッフ企画「働く×自分×ボランティア」
 G…学生団体「Teamみその」歌舞伎フェスタ
 H…日本ハンギングバスケット協会×CCC
 「バレンタインflower potをつくろう」

編集後記

コラボ通信47号いかがでしたか？ご意見、ご感想お待ちしております。
 2016年度下半期も多くの学生がそれぞれのフィールドで大活躍していました。2017年度もたくさんの笑顔に出会えそうだと
 も楽しみです。学生編集チームのインタビューアール・加藤真衣さん、写真撮影担当・西川末菜さんが大学卒業に伴い、編集チーム
 からも卒業します。本当にお疲れさまでした＆ありがとうございました。2人の後を引き継いでくれる編集メンバー大募集中です！！
 (CCCスタッフ・今井)

学生編集チーム

後藤梓(メディアプロデュース学科4年)
 宇佐美舞(福祉貢献学科3年)
 倉野愛弓(福祉貢献学科3年)
 細田恭那(教育学科3年)

発行：愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター

●長久手キャンパス(11号棟1階)
 〒480-1197 愛知県長久手市片平二丁目9 (0561)62-4111(代)
 ●星が丘キャンパス(5号館1階)
 〒464-8671 名古屋市中千種区桜が丘23 (052)781-1151(代)
 Eメール asccc@asu.aasa.ac.jp
 HP <http://www.aasa.ac.jp/institution/coc/index.html>
 利用時間 平日9:00～18:30(授業日以外9:00～17:00)

コラボ通信 vol.47



【写真】
 料理交流会
 (主催:CCC学生団体「共同料理なごやか」)
 撮影:後藤梓(メディアプロデュース学科4年)



A 僕はすごく人見知りだったのでボランティアに興味があったから始めたというよりは、自分のコミュニケーション能力を磨きたかったという気持ちから始めました。最初にボランティア関係の授業が多いCCC開設科目を受けました。長久手市のグリーンマップ作りは楽しかったですね。そ

A 僕は今農業に関係する業務を担う部署に所属しています。色々な方向から物事を見る視野を養いましたし、価値観も広がりました。

Q これまでの活動で現在のお仕事に活かされていることはありますか？

A 僕は今農業に関係する業務を担う部署に所属しています。色々な方向から物事を見る視野を養いましたし、価値観も広がりました。

Q 最後に学生たちに向けてメッセージをお願いします。

A どんどん身の丈に合わない環境に自分を置いて何も考えずにやってみるのがいいと思います。「今のうち」です。大学生だと、困った時に何とかしてあげなきゃってみんなが助けてくれる。甘えられるのは「今のうち」。だから今のうちに甘えていい経験をさせてもらってください。その経験があつて、就職につながって、それがきつと結果的に何かしらの恩返しになるのかもしれないと思います。

Q ボランティア活動には以前から興味があったのですか？

A 僕はすごく人見知りだったのでボランティアに興味があったから始めたというよりは、自分のコミュニケーション能力を磨きたかったという気持ちから始めました。最初にボランティア関係の授業が多いCCC開設科目を受けました。長久手市のグリーンマップ作りは楽しかったですね。そ

Q ボランティア活動をやっていておもしろかったことは何ですか？

A 一番おもしろかったのは「りにさい」での活動ですね。CCC開設科目を履修して、地域に飛び出ようと思いましたが、他大学の子たちと仲間となって標語やグッズを作りました。モリコロパークで開催したイベントでは長久手市の方たちとたくさん交流できました。単発の活動でなく継続して従事していると、初めましてじゃない方や積極的に関わってくれる方には頻繁に会っていたので、漠然とではありますけど、本当におもしろかったです。勉強は苦手でしたが、その頃から本格的にまちの仕組みとか勉強し始めて、夢中になってがんばってましたね。また、ボランティアサークル「あじゅあす」に所属して活動していた時期もあり、障がいを持っている子と関わりまし

Q なぜ、市役所で働くようになったのですか？

A 長久手市役所で働こうと思ったのは「公務員になりたい」という気持ちからではありません。長久手市に居続けるためには…って考えた時に延長線上に市役所があつて市役所で働くことを選択しました。先にも話したように、長久手市でたくさん活動をさせていただきました。活動していくうちに長久手市でのまちづくりに魅了されました。長久手市はいい意味でも悪い意味でも結果が反映されるというのがおもしろく、まちづくりにやりがいを感じます。僕は公務員つぽくない公務員になりたいと思っています（笑）。

Q 最後に学生たちに向けてメッセージをお願いします。

A どんどん身の丈に合わない環境に自分を置いて何も考えずにやってみるのがいいと思います。「今のうち」です。大学生だと、困った時に何とかしてあげなきゃってみんなが助けてくれる。甘えられるのは「今のうち」。だから今のうちに甘えていい経験をさせてもらってください。その経験があつて、就職につながって、それがきつと結果的に何かしらの恩返しになるのかもしれないと思います。

今回初めてのインタビューで緊張しましたが、気さくな方で話しやすかったです。対話中、長久手市を愛する気持ちがすごく伝わってきました。スタッフの今井さんも参加してくださり、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。

聞き手／細田恭那
教育学科3年

先輩

学生時代にボランティアや社会貢献活動、地域に飛び出して動いた経験って、本当に卒業してから役に立ってるの？
そんな素朴な疑問を先輩にぶつける、卒業生インタビュー。

今回インタビューに協力してくれたのは、福祉貢献学部卒の都築康成さんです。

プロフィール

都築康成(つづきやすなり)
福祉貢献学部2014年卒
長久手市役所勤務。

第4回目のインタビューに協力してくれたのは、福祉貢献学部卒業の都築康成さんです。都築さんは、在学中にリニモ沿線合同大学祭実行委員会（以下「りにさい」）でリニモ沿線地域の活性化に取り組んだり、ボランティアサークル「あじゅあす」で児童や障がい者の方々との交流を図るなど、多岐に渡ったボランティア活動をしていました。現在は長久手市役所で農業関

係の仕事に従事しており、CCCで活動する現役生と協働もしています。

今回は長久手CCCにてインタビューを実施。学生時代を振り返ってもらいながら、進路選択に至るまでの経緯や、社会人としての経験を聞かせていただきました。



ボランティアリポート！

長久手市の子どもたちに防災の重要性を伝えました！

長久手市市内一斉防災訓練 ワークショップ



11/20 Sun

in 長久手市立市が洞小学校

長久手市で年に1度実施されている防災訓練にて、「防災」に関心がある学生がチームを結成し、ワークショップを実施しました。防災カルタやKYN（危険予知能力）チェック、避難袋づくり体験をおこない、親子や子どもを中心に防災について楽しく触れてもらえる機会となりました。

学生コメント

私たちは「KYNチェック」という企画を提案し、防災マップを作成しました。クイズをしながら地図上を進んでいく形式で、参加してくれた子どもたちも積極的に考え、発言してくれたのでとても嬉しかったです。防災マップやクイズが完成した時の達成感もあり、参加して良かったと思いました。防災についてもっと知りたいと思っているので、今後も積極的に防災ボランティアに参加しようと思っています。

（教育学科3年 長崎里菜）



フィリピンの路上の子どもたちとSkypeで交流！

路上の子どもたちとの Skype交流プログラム Talk for 1 Step



11/30 Wed

in アイキャン日本事務局

フィリピンでは、約25万人の子どもたちが路上での生活を余儀なくされています。「Talk for 1 Step」はSkypeを通じて、フィリピンの路上の子どもたちから路上での生活についての話を聞き、問題への理解を深め、私たちが「できること」を考えるプログラムです。また、フィリピンへのスタディーツアーに参加した学生がフィリピンの子どもたちの現状や課題を伝えるため、学生団体を立ち上げています。

学生コメント

Skype交流ではフィリピンの子どもたちと楽しく交流することができました。子どもたちが日本に興味を持ってきてくれて嬉しかったし、ダンスを披露してくれて、とても可愛かったです。そんな子どもたちから直接置かれている現実を聞くと、すごく考えさせられます。今後も学生団体「ICAN+S」の一員として、「自分にできること」を考えてもらえる機会を作っていけるようがんばります。

（交流文化学科4年 東藤明里）



春～夏の オススメ ボランティア

【子ども】

- おばたの森遊び
- 各種キャンプボランティア

【環境】

- デンソーハートフルデー
グリーンウォーク愛知池
- 中日森友隊森林整備

【福祉】

- 介助犬フェスタ
- ジョギングフェスティバル

【防災】

- トヨタ自動車(株)ボランティア
サークルとの防災イベント

【イベント】

- 堀川フラワーフェスティバル

☆詳細は月2回発行される
「ボランティア情報」をチェック！

ヒト×ヒト つながりリレー

ボランティアの面白さ
＝新しい人との出会い！
いろんな人と出会える楽しさで
ボランティアにはまっていく学生も
多くいます。
つながりリレーでは「ボランティアで
こんな人につながったよー！」を紹介します。

Pick
Up!

アサヒキャンプ名古屋

アサヒキャンプ名古屋は、キャンプを通じた青少年育成を目的としているNPO法人です。現在活動の中心となる学生ボランティア約40人が所属しています。大学生ボランティアをキャンプカウンセラーとして育成し、そのキャンプカウンセラーがさまざまな子どもたちを対象としたキャンプを企画・運営します。子どもたちを取り巻く環境や問題を学びながら、年間を通じてキャンプを行っています。

いつも全力、自分らしさが輝いている丸山佳菜さんを紹介します。同じゼミになって初めてボランティアに対する姿勢やアクティブに活動する姿を目にしました。佳菜は、アミーゴの活動で西尾市にて「寄り添い読書会」を行い、外国人児童へのサポートに力を注いでいます。どんな時でもポジティブに、そして、困っている人がいると自然と助けてくれる素敵なお友達。外国人児童生徒の抱える問題を知り、私たちがこれから教師を目指していく上で少しでも彼らの力になればいいな…この想いを数々のボランティアを通して一緒に考え、自分の考えをしっかりと伝えてくれます。そんな佳菜とこれからもボランティアの可能性を伝えて、将来に向かってがんばっていききたいです！！

山下ひな(ひなさん)さん 文学部教育学科4年



私は教育学科4年の山口沙織さんを紹介します。沙織さんは障がいのある子どもたちとキャンプをしたり、学習や遊びを通して支援をする「NPO法人アサヒキャンプ名古屋」で活動しています。沙織さんは、いつも優しい笑顔を絶やさず、穏やかな口調で周囲を癒してくれています。また、障がいのある子どもたちへの知識をたくさん習得していたり、様々な経験をしたりと、沙織さんは頼りになる存在です。そして、活動の中での想定していなかった困難にも諦めず立ち向かっていく姿勢は見習うべきところであり、自分自身の成長に繋がりたいなと感じさせてくれます！

丸山佳菜(佳菜)さん 文学部教育学科4年



山口沙織(沙織さん)さん
文学部教育学科4年

CCC運営委員の先生に聞く「学生へのイチオシ！」

第4回はCCCの小早川真衣子先生から、学生みなさんに伝えたい一冊をご紹介します。



CCC イチオシ！



いのちの食べ方

森達也 著
イースト・プレス 2011年

私たちが、ほぼ毎日の食事で口にするお肉。それが、どこから来るのかを知っていますか？大学生なら「スーパー」とは答えず「養豚場で…」と答えられるはず。でも、その「あいだ（間）」は？育てられた豚や鶏が料理となって、私たちの食卓にあがるまでの出来事を知っていますか？実は私もよく知りません。その間を知らなくても問題なく生活できてしまうのが、今の私たちの世界です。著者は、そのような世界で「知らないこと」に慣れてしまっている私たちの生き方に警鐘をならします。

「僕たちはいろんなものから、気づかぬうちに無意識に目をそらしている。見つめよう。そして知ろう。」

一昨年、私は子どもを産み、食べものを与える側になりました。食欲旺盛な息子から「人の体は食べもので出来ている」ことを毎日実感させてもらっています。そんな時、この本を読み直し、皆さんに紹介したいなと思いました。この本からは、その間に起きていること、そして私たちの社会の問題を知ることができます。本の内容の全てに同意する必要は全くありません。むしろ「本当にそうなのかな？」と疑問をもち、自分で「知ること」を始めるきっかけにすることが大切です。一度、手に取ってみてはいかがでしょうか。